



新入生の皆さんへ

学長 赤路 健一

京都薬科大学に入学された皆さんならびに大学院に入学された皆さん、ご入学誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。これからの学部における6年間あるいは大学院における4年間で皆さんの人生にとってかけがえのない素晴らしい時期になることを確信しています。

2020年が始まってすぐに日本で最初の新型コロナウイルス感染者が確認されて以来、何回かのパンデミックが繰り返され、日常生活に大きな制限が課せられる時期もありました。2024年2月現在、ようやく大きなパンデミックは見られなくなりましたが、感染再拡大の懸念はまだ残っています。また、新たな感染症の出現や、すでに終息したと考えられていた感染症の再出現も懸念されています。このような経験を経て、日本の医療体制は大きく変化し、遠隔医療やデジタル化が急速に進むようになりました。もちろん、薬剤師の果たすべき役割にも大きな変化が起

りつつあります。薬剤師は、病気あるいは病気になる可能性のある人を広く対象として、病気の治療と予防に貢献する職業です。病院や薬局で薬の調合を行うだけではなく、その薬の効果と限界をきちんと患者さんに理解していただき、さらには服薬管理や症状・副作用モニターまで行う必要があります。一方で、患者さんに直接かかわらなくとも、新しい薬のアイデアやシーズを探り治療薬に結びつけることも薬剤師の重要な任務の一つです。また、このような新しい薬の有効性を臨床的かつ学術的に検証することも必要です。

21世紀における科学技術の飛躍的な進歩に伴い、病気の理解も格段に深まりました。にもかかわらず、治療法がない疾患や感染症はまだ残されています。様々な種類のがん疾患をはじめとして、アルツハイマー病をはじめとする脳疾患や神経疾患もいまだ治療法が確立されていません。現在の科学知識で

CONTENTS

■ 特集

新カリキュラム (2024カリキュラム) について 6

■ ご挨拶

新入生の皆さんへ 学長 赤路 健一 1

定年退職のご挨拶 2

新任のご挨拶 3

■ イベント

2023年度合同多職種連携教育(IPE)研修会 11

白衣授与式 14

■ 報告

【寄稿】能登半島地震被災地への災害派遣について 5

2024年度大学院薬学研究科 薬学専攻博士課程 (冬季募集)

及び薬科学専攻博士前期課程 (転入学) の入学選考結果 16

薬用植物園の活動報告 Vol.3 16

受賞・掲載 22

京都薬科大学奨学金寄附金芳名録 24

■ コラム

私の薦める、私の一冊 13

卒業生からのメッセージ 15

十人十色 17

学生相談室だより 21

■ お知らせ

人事 4

奨学金について 8

2024年度学費等の納入について 10

2024年度オープンキャンパス開催のお知らせ 10

生涯教育センターからのお知らせ 12

京薬会だより 14

Library News 15

クラブ・サークル紹介 18

は疾患解明に至らず、最新の医療技術をもってしても治らない病気はまだたくさんあると言わざるを得ないのが医療界の現状です。

京都薬科大学における6年間の学びは、このような多様な医療界の変化にも素早く対応できる薬剤師の基礎を作るためのものです。すでに分かっていることを整理し理解すること、国家試験に合格し薬剤師として社会へ貢献するための実践、などは大学で十分習得できます。しかし、薬や医療の進歩は日進月歩で、その学術的知見は日々更新され書き換えられます。このような学術的知見の更新にタイムリーに対応できる力をつけることも大学時代の重要な課題です。京都薬科大学での学びは、社会で認められる薬剤師になるために必要かつ十分な能力を身につけるとともに、卒業後も自己研鑽によって新たな学術的知見を学び取っていきける能力をつけるためにも十分な内容です。さらに、学部で得られた知識と経験を学術的に昇華させ、広く世界に通用する知見とするのが大学院での学びです。

皆さんが大学あるいは大学院で向き合う課題には、その解決に必要な基礎的知見が十分に得られていない場合が多くあります。様々な解釈が可能で、一つの正解に間違いなくたどり着けるわけではないのです。少し古い例ですが、1890年代に流行したインフルエンザの一種であるロシアかぜでは、病原菌としてインフルエンザ菌が特定されました。インフ

ルエンザの原因が細菌であるとされたのです。当時は様々な感染症の原因となる細菌が次々と同定されていた時期だったのです。実際にこの菌に対するワクチンも作られたのですが、1918年にパンデミックを起こしたスペイン風邪には当然ながら効果がありませんでした。このパンデミックの後、ウイルスの存在が広く認められるようになって初めてインフルエンザの原因がウイルスであることが解明されたのです。現在でも同じような可能性が残されていることを心にとめておいていただければと思います。

一方で、大学時代は自己の内面に向き合う最適の時期でもあります。勉学はもちろんですが、クラブ活動・ボランティア活動・アルバイト等々いろんな活動にチャレンジしてみてください。海外を自分自身で経験することや、今まで縁のなかったジャンルの読書にトライすることで新たな創造力を広げてください。大学院を修了した後は、ぜひ海外の研究室を経験し研究に対する考え方のお国柄を感じてください。

皆さんが卒業する6年後に実現しているであろうデジタル化時代に即した新しいスキルと熱いハートを持った次世代の薬剤師を目指して大いに研鑽を積んでください。同時に、これからの数年間でしかできない新しい挑戦にトライしてください。皆さんの京都薬科大学での大学生活に期待しています。

あらためて、ご入学おめでとうございます。

定年退職のご挨拶



生命薬科学系
公衆衛生学分野

わたなべ てつし
教授 渡辺 徹志

私は、1982年に本学を卒業後、出身地である静岡県へ戻り、静岡薬科大学（現 静岡県立大学）大学院修士課程を修了し、静岡県職員として就職いたしました。就職1年目に出身研究室である衛生化学教室の教室主任をされていた故 福井昭三名誉教授よりお声掛けいただき、1985年に同教室の助手として着任いたしました。その後、1993年11月から1年間、ノースカロライナ大学公衆衛生学部と米国環境保護庁（US EPA）国立健康環境影響研究所へ留学させていただきました。帰国後、公衆衛生学教室（現 公衆衛生学分野）

へ配置替えになりました。

研究室は、2007年に研究棟などの建て替えに伴い、現在の躬行館図書館棟付近にあった旧実習研究棟8号館から南校地のS棟へ移りました。本校地と南校地にいる学生数の違いの影響でしょうか、南校地は静かで少し寂しいようにも感じられましたが、静かである分、それまで以上に研究などに集中できるように感じました。本学では、留学期間を含めて39年間にわたり疾病予防をめざした研究活動、学部生・大学院生の指導など本当に充実した時間を過ごさせていただきました。

最後に、これまで長い間お世話になりました教職員の皆様ならびに本学関係者の皆様に心より厚くお礼申し上げますとともに、本学の益々の発展を祈念し、定年退職の挨拶とさせていただきます。

新任のご挨拶

基礎薬科学系

一般教育分野

おぐみ よしえ

准教授 小久見 祥恵

2024年1月1日付で基礎科学系一般教育分野の准教授として着任いたしました。「法学」「現代社会」「英語」などの授業を担当します。私は、同志社大学法学部法律学科卒業、同大学院公法学専攻博士課程前期課程修了、同大学院公法学専攻博士課程後期課程単位取得満期退学後、博士（法学）学位を取得しました。京都大学法学研究科での日本学術振興会特別研究員（PD）、同志社大学法学部嘱託講師およ

び京都市立芸術大学非常勤講師などの職を、2度の出産・育児のために中断しつつも、務めてまいりました。法哲学を専門分野とし、フェミニズム法理論を手がかりに、法が実現すべき価値としての平等の理念について主に研究を重ねています。

このたび京都を代表する実績および歴史ある本学において研鑽を積む機会を頂戴し、京都生まれ京都育ちの私は大きな喜びと共に身の引き締まる思いを感じています。微力ながら、学生の皆さんが広い視野を持ち、多様な人々が共生しうる社会の実現に貢献する力を身につけられるよう、精一杯尽くしてまいります。ご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



創薬科学系

薬品製造学分野

ともはら けいすけ

講師 友原 啓介

2024年1月1日付で、創薬科学系・薬品製造学分野の講師に着任致しました。さて私は、学生の時分、「色々なことを“広く浅く”学ぶ薬学の強みって何だろう？」とっていました。例えば「有機化学は、理学・工学ではもっと“深く”学ぶんだろなあ」と。そのような中、「理想系ではない混沌の

中にある真理を探求できることこそが薬学者の強み」という言葉に出会い、私の中にあったモヤモヤ感は一気に吹っ飛びました。そして、大学院での5年間、純粋なエノラート化学（有機化学）の研究に集中し、大学教員となっていよいよ混沌とした複雑系を題材とする研究に飛び込みました。有機化学の考え方を基本とし、他とはちょっと違ったアプローチで研究を行うことを心がけています。

この度縁あって、伝統ある京都薬科大学の一員となれたことを光栄に思っております。情熱を持って日々の研究と教育に取り組む所存です。

これからどうぞ宜しくお願い致します。



創薬科学系

生薬学分野

おおた ともえ

講師 太田 智絵

2024年1月1日付けで、生薬学分野の講師に着任致しました。私は2013年に本学薬学部を卒業後、本学薬学専攻博士課程に進学し、2017年に博士（薬学）の学位を取得いたしました。その後、長崎国際大学薬学部薬学科にて約7年間、助教・講師として勤務し、天然物化学・生薬学・漢方薬の教育・研究に携

わってまいりました。学部時代から一貫して、薬用植物からの生体機能性成分を探索し、医薬品シーズを見出すことに従事してまいりました。本学ではこれまでの経験や技術を生かし、新たな生薬学の展開に向けて邁進してまいります。

大変お世話になりました京都薬科大学の教員として従事できることを光栄に感じております。本学の一員として更なる精進を図り、研究と教育に励む一方で、本学の発展に貢献してまいりたいと思えます。今後とも皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

基礎薬科学系
一般教育分野

ふじわら ゆみ
講師 藤原 由美

2024年1月1日付で一般教育分野の講師に着任いたしました。私は大阪外国語大学（現 大阪大学外国語学部）大学院博士前期課程にて修士号（言語文化学）を取得後、同大学院博士後期課程を単位取得満期退学いたしました。その後、関西圏の大学や短大を中心に複数の教育機関で嘱託講師や非常勤講師を務めながら、長年大学の英語教育という現場に携わって参りました。本学でも、12年間、非常勤講師として1年次生と2年次生対象の英語を担当させてい

ただきました。週1回の講義ではありましたが、受講生の方々の真摯で誠実な物事の取り組み方にこちらが刺激を受けることが多々あり、折に触れ本学の歴史と伝統の深さや重みを感じました。このような大学に講師として加えていただくことは光栄の至りです。

研究領域は言語学で、ことばに関するさまざまな言語現象に関心があります。講義だけではなく学生の皆様との交流の中で、普段何気なく使っていることばのあり方を共に思索し、ことばの持つ奥深さや面白さを教授できたらと考えております。微力ではございますが、本学のさらなる発展に貢献できますよう、誠心誠意努力して参ります。今後とも皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

NEWS 人事

採用

基礎科学系一般教育分野	准教授	小久見祥恵
創薬科学系薬品製造学分野	講師	友原 啓介
創薬科学系生薬学分野	講師	太田 智絵
基礎科学系一般教育分野	講師	藤原 由美

（以上任期2024. 1. 1～2028. 12. 31）

再任用

附属施設薬用植物園	助教	月岡 淳子
-----------	----	-------

（任期2024. 1. 1～2028. 12. 31）

病態薬科学系臨床薬理学分野	准教授	小原 幸
---------------	-----	------

（任期2024. 2. 1～2029. 1. 31）

配置換

薬学教育系学生実習支援センター	助教	岩崎 宏樹
-----------------	----	-------

（前 薬品製造学分野）
（2024. 1. 1付）

兼務解除

事務局実務・生涯教育課	課長	井本富美代
-------------	----	-------

（兼）事務局進路支援課担当課長
（2024. 1. 1付）

契約期間更新

事務局施設課	契約専門職員	山下 登
--------	--------	------

（契約期間2024. 1. 1～2024. 12. 31）



今回、日本薬剤師会の災害支援業務の派遣で1月22日～26日に京都府薬剤師会の第二陣として石川県の穴水地区へ行ってきました。能登半島地震の災害拠点は穴水地区以外に門前地区、能登地区、輪島地区、珠洲地区の5拠点が、中でも珠洲地区が最も被害が大きい地区ですが、私が行った穴水地区は珠洲地区と比較すると被害が小さいものの、まだまだインフラ整備が不十分なところがある場所でした。



モバイルファーマシー



穴水災害拠点本部の入り口

穴水地区はある程度災害復興が進んでいるため、私が派遣された時期は地域の保険診療に戻す方向での災害支援活動がメインでした。そのため、薬剤師としての災害支援活動として、①DMATやJMATとの帯同、②避難所の環境・衛生管理、③避難所生活をされている被災者のみなさんの体調チェックや服薬管理状況の確認、④発行された災害時処方箋によりモバイルファーマシーで調剤された医薬品の配達、などが主な活動でした。まだまだインフラ整備が不十分であり、特に上下水道が復旧していないことから、飲み水やトイレなどの生活面において非常に大変だと感じました。道路等も徐々に整備されつつあるものの片側一方通行のところも多く、また家が壊れた状態で放置されている場所などもあり、通常の日常生活に戻るまでまだまだ時間を要する状態でした。

被災地への災害派遣を通して、薬剤師としてというだけでなく、医療人として、様々なことを考える良い機会になりました。そこで、特に薬剤師として必要だと感じた能力を挙げます。

まず一つ目として「自動化に頼り過ぎないこと」です。近年、AI化が進み、医療においてもDXに移行する流れは言うまでもありませんが、いざ災害が発生すると電気・ガス・上下水道等のライフラインが切断されるため



災害支援活動後の報告書作成

思うように自動化された機械などを活用できません。実際に災害拠点では、医師による手書きの処方箋であったり、薬袋作成も手書きであったりと、一から自分自身で作業しないといけません。つまり、様々なも

のが機械化され便利になることはよいですが、機械化に慣れてしまうと災害での医療支援業務が出来なくなります。ですので、原始的なアナログ的な対応ができるようにしておく必要があると思います。

二つ目として「臨機応変な対応ができること」です。これまで日本では阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本地震が発生し、薬剤師が様々な形で災害支援にかかわってきました。しかし、全く同じ災害はありません。すべての大震災後の状況は異なっています。つまり、マニュアル通りにはいかない場面が非常に多いです。そのため、災害支援活動においては、その場その場で自ら考えて、その時に一番ふさわしいと思われる対応を選択し実行できる能力が必要です。そのためには、様々な知識や経験をして、自らで判断できる能力を養うことが必要だと思います。

三つ目として「自分の能力を知る（特に自分の限界点について）」です。災害支援活動は通常の業務とは異なっています。危険な場所に行くことがあるかもしれませんし、今までにやったことがないことをしないといけないかもしれません。ですので、災害支援活動をしようと思う気持ちだけではどうにもなりません。災害支援活動は「実行できるか」が重要です。だからこそ、自分の能力（特に限界点）を理解してその認識を持っているかが重要になります。そうしないと、被災支援に行った者が逆に被災者に助けしてもらえないといけない状況になる（例えば「ミイラ取りがミイラになる」）かもしれません。これは絶対に避けなければいけません。ですので、自分の能力（特に限界点）を知っておいて欲しいと思います。

最後に、今回被災地を訪れて薬剤師や医療人ではなく、一人の人間として「自分たちが今普通に生活が出来ている有難さ」を認識するとともに、いざ災害が発生すると「当たり前が当たり前でなくなる」ことを改めて実感しました。災害支援は体力も必要ですし、様々な能力も必要になりますが、災害支援を経験することで自分自身の視野が広がると思います。薬学生の皆さんが将来薬剤師になられたとき、もし大きな災害等があった際には災害支援活動に積極的に参加していただけたらと思います。



災害支援活動の服装

新カリキュラム（2024カリキュラム）について

—より深く、より広く学び、薬剤師・薬学研究者としての知識・技術・人間性を高める—

「令和4年度改訂版薬学教育モデル・コア・カリキュラム」に対応し、これからの時代の医療を担う人材を養成するため、京都薬科大学では2024年度入学生から新カリキュラム（以下、2024カリキュラム）による教育を開始します。2024カリキュラムは、「令和4年度改訂版薬学教育モデル・コア・カリキュラム」に示された内容を十分考慮したうえで、本学の薬学教育の特色を加味し策定されたカリキュラムです。

本特集では、2024年度以降の入学生を対象とした2024カリキュラムの概要を紹介します。

教務部長 斎藤 博幸

Feature article

■基礎力を養う

1. 初年次教育

問題発見・解決能力の育成、豊かな人間性やコミュニケーション能力の修得を目標に、基礎演習ではSGD^{*1}やPBL^{*2}を実践します。また早期体験学習では、SGD^{*1}の実践によって学習目的を明確にさせ、病院・薬局見学、企業見学等に臨みます。さらに基礎演習、情報処理教育や基礎科学実習を通して、レポート作成やプレゼンテーション能力、科学的思考力などのアカデミックスキルの基礎を修得します。

*1 SGD : Small Group Discussion

*2 PBL : Problem Based Learning (問題解決型学習)

2. ヒューマニズム教育

ヒューマニズムや医療倫理に関する科目群を継続的に履修することにより、薬剤師や薬学研究者としての社会的役割の理解や生命倫理・医療倫理の基本的態度を確立します。また、患者・生活者のみならず他の医療従事者との連携に必要なコミュニケーション能力を修得します。

3. 教養教育および語学教育

1年次から3年次前期までの一般教養科目群「人と文化」の履修によって、幅広い教養と学問的視野を身につけます。また、基本的な英語能力に加え、基礎的な科学英語の履修を出発点にして、薬剤師・薬学研究者として必要な語学能力を修得します。

4. 体系的な情報科学・統計解析科目群

数学や統計解析学、臨床統計学などの情報科学や統計解析に関する科目群を体系的に履修することにより、医療情報やビッグデータ、科学的データを合理的に活用する能力を身につけます。これにより、基礎薬学研究、医薬品開発や臨床研究などのさまざまな場面でのエビデンスに基づいた論理的評価法を修得します。

■専門性を深める

1. 化学の基礎を出発点として創薬を志向する

高校での化学に連携した基礎的な化学の履修を出発点にして、薬学の基本である有機化学、物理化学、分析化学を体系的に修得します。また、実習科目における体験を通して、優れた治療効果を示す物質の化学構造やその特性を理解し、創薬・製薬を志向した専門的・実用的な技能を学びます。

2. 生命科学を基盤として医療薬学を学ぶ

生命現象や疾患とその治療法の理解に必須である生化学、細胞生物学、解剖生理学等の生命科学系基礎科目を体系的に修得するとともに、薬理学などの生物系応用科目の理解を深めます。さらに、これら科目の修得を基礎として、病態薬物治療学や病態診断学などの医療に関わる専門的・先端的な知識・技能を深く理解します。

3. 自身の興味や将来の進路に応じた科目選択

3年次後期～4年次前期の専門科目発展型選択科目群および6年次前期の実践的・科目横断型選択科目群では、自身の興味や将来の進路に応じた科目を履修します。前者では薬学専門科目で学んだ薬学の基礎知識を深化・発展させ、後者では実務実習履修後に身につけるべき創薬、医療、医薬開発、健康、漢方に関わる専門的な知識・技能を修得します。

■実践力を高める

1. 薬物治療の実践的能力を修得する臨床薬学教育

薬剤学、薬物動態学、テーラーメイド薬物治療学などの臨床薬学科目を通して、個々の患者において最適な薬物治療を選択するために必要な実践的知識・技術を修得します。また、地域医療学や症例・処方解析演習、さらには実務実習を通して、社会における薬剤師や医療人としての知識や考え、実践的能力を修得します。

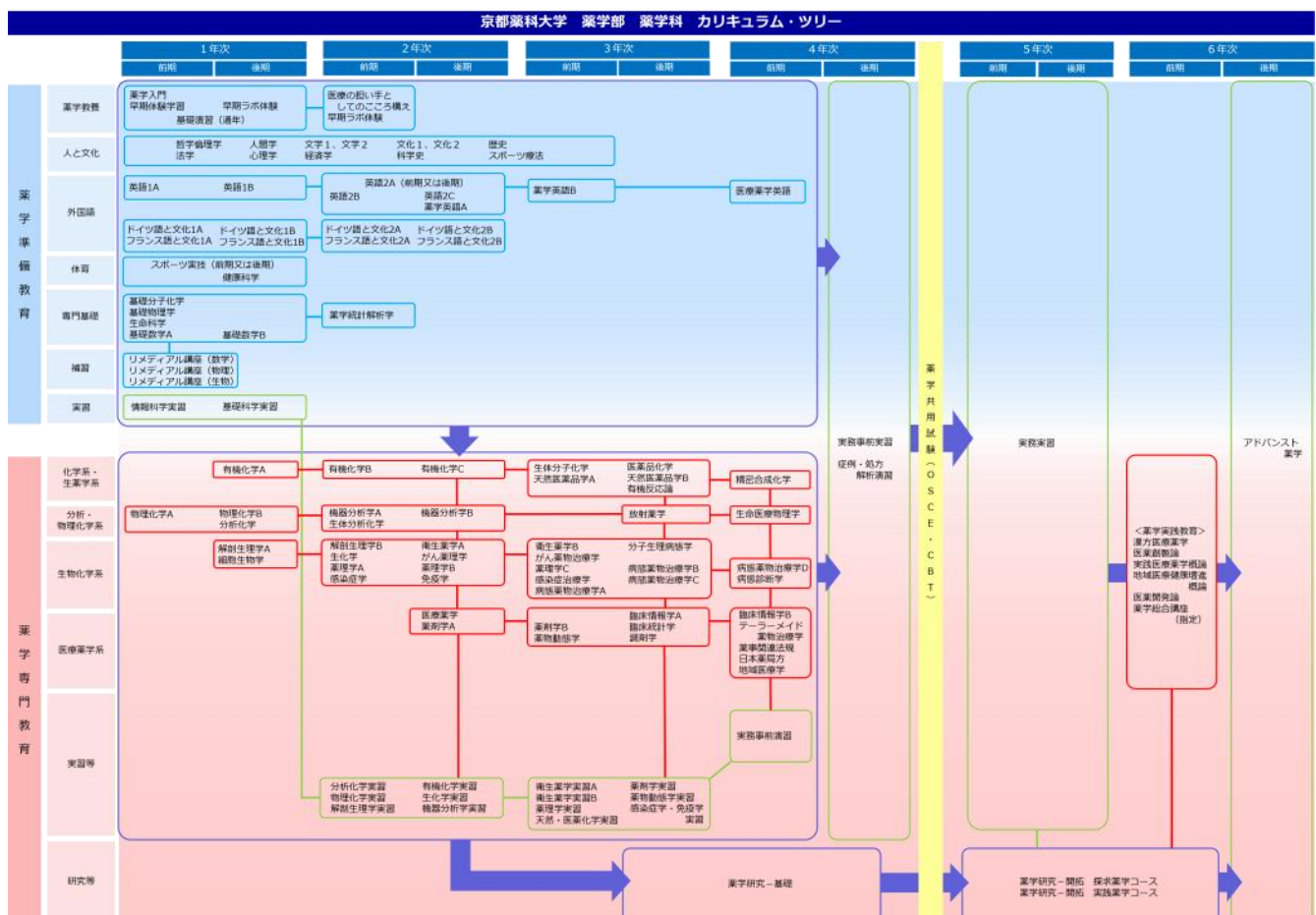
2. 早期研究室分属とコース教育を特徴とした薬学研究

3年次後期から分野・センター等の研究室に分属し、それまでに修得した知識・技術・態度を基盤として先端的研究を実践します。5年次からは、探求薬学コースあるいは実践薬学コースを選択して薬学研究を継続し、コミュニケーション能力やリーダーシップ能力を高めるために実践的な研鑽を積み重ねます。探求薬学コースでは、基礎薬学研究を含めた医薬品の開発からその適正使用にわたる広範な領域での問題発見・解決能力を醸成します。実践薬学コースでは、薬剤師としてより実践的な内容を演習や体験プログラム等によって学びます。

以上、本学の2024カリキュラムの特徴を紹介させていただきました。2024カリキュラムの開講科目一覧は、次の「カリキュラム・ツリー」をご参照ください。

2024カリキュラムによる新たな教育の展開は、2024年度以降の入学だけでなく、2023年度以前入学の在学、卒業生の教育にも反映していく予定です。2024カリキュラムに対するご意見やご指摘などがありましたら、是非、京都薬科大学教務課までお寄せください。

<2024カリキュラム・ツリー>



カリキュラム・ツリーは本学公式Webサイトにて公開しています。
https://www.kyoto-phu.ac.jp/Portals/0/resources/education_research/national_exam/pdf/curriculumtree.pdf



学生生活における経済的な不安を少しでも解消し、安心して勉学に励むことができるように奨学金制度があります。募集については、随時manabaでお知らせします。出願の機会を逃さないようにして下さい。なお、家計が急変した場合には、緊急・応急での採用も随時可能ですので、学生課に相談して下さい。

■日本学生支援機構奨学金（貸与型）

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し学資として貸与されるもので、貸与が終了した後、必ず返還しなくてはなりません。家庭の経済状況等に基づき、奨学金の貸与を受ける必要性、適正な金額、返還時の負担のことなどを十分考慮のうえ申込みをして下さい。4月と9月の年2回募集を行います。奨学生に採用されると、卒業するまで貸与を受けることができます（留年中は停止）。

【奨学金の貸与月額】

奨学金の種類	貸与月額	
第一種奨学金 (無利子貸与)	自宅月額	20,000円、30,000円、 <u>40,000円</u> 、54,000円（何れかを選択）
	自宅外月額	20,000円、30,000円、 <u>40,000円</u> 、 <u>50,000円</u> 、64,000円（何れかを選択）
第二種奨学金 (有利子貸与)	20,000円～120,000円の中から希望月額を選択(10,000円単位) さらに最高月額(120,000円)に月額20,000円の増額希望可能	
入学時特別増額貸与 奨学金(有利子)	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円の中から選択(大学1学年において入学年月を始期として奨学金(第一種・第二種)の貸与を受ける者が対象)	

1. 下線付きの月額は、2018年度入学者から新たに選択できる月額です。2017年度以前の入学者は、下線付きの月額を選択できません。
2. 自宅外通学の学生は、「自宅月額」「自宅外月額」の中から月額を選択することができます。
3. 給付型奨学金と併用する場合、区分によっては第一種奨学金の貸与月額が減額になります。

【奨学金の申込基準】

奨学金の種類	募集月	学力基準	年収・所得の上限額の目安					
			給与所得世帯			給与所得以外の世帯		
第一種奨学金 (無利子貸与)	4月	高校 評定平均値 3.5以上	通学形態	上限額	第一種・第二種 併用貸与上限額	通学形態	上限額	第一種・第二種 併用貸与上限額
			自宅	806万円	756万円	自宅	398万円	355万円
			自宅外	853万円	810万円	自宅外	445万円	402万円
第二種奨学金 (有利子貸与)	4月	学習意欲があり 学業を確実に 修了できる 見込みがある	通学形態	上限額	第一種・第二種 併用貸与上限額	通学形態	上限額	第一種・第二種 併用貸与上限額
			自宅	1,149万円	756万円	自宅	741万円	355万円
			自宅外	1,196万円	810万円	自宅外	788万円	402万円

1. 上表においては、本人、父、母（無職、無収入）、公立高校生の弟妹1人の4人世帯の年収・所得金額の目安です。世帯員の人数、家庭事情等により異なります。
2. 給与所得者（年金受給者を含む）の場合は、源泉徴収票の支払金額（税込）です。
3. 給与所得者以外の場合は、確定申告書の所得金額です。
4. 奨学金の種類や貸与月額については、希望どおりとならない場合があります。

■高等教育の修学支援新制度（給付型奨学金・授業料等減免）

2020年4月より高等教育の新修学支援制度が始まりました。この新しい制度には、①日本学生支援機構による給付型奨学金の支給、②授業料等の減免の2つの支援があります。①の給付型奨学生として採用された方は、②の授業料等減免の対象者となります。4月と9月の年に2回募集を行います。

【支援対象になる学生】

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生（既に大学等に在学している学生も対象）

【支援を受けられる年収の目安と支給月額及び授業料減免額】

支援対象者	年収目安	給与所得以外の世帯	支給月額		授業料減免額 (年額のうち、以下の金額を減免)
	給与所得世帯		自宅通学	自宅外通学	
住民税非課税世帯の学生 (第1区分)	～約295万円	～約196万円	38,300円 (42,500円)	75,800円	900,000円
住民税非課税世帯に準ずる 世帯の学生(第2区分)	～約395万円	～約277万円	25,600円 (28,400円)	50,600円	900,000円
住民税非課税世帯に準ずる 世帯の学生(第3区分)	～約461万円	～約348万円	12,800円 (14,200円)	25,300円	900,000円

1. 上表においては、本人、父、母（無職、無収入）、公立高校生の弟妹1人の4人世帯の年収・所得金額の目安です。世帯員の人数、家庭事情等により異なります。
2. 生活保護（扶助の種類を問いません。）を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人は上表のカッコ内の金額となります。
3. 収入基準についてはJASSOホームページに掲載している「進学資金シミュレーター」（右記のQR）でより具体的に確認できます。
4. 2024年度入学者で新修学支援制度対象者については、上記授業料減免に加え、入学金400,000円の減免を受けることが可能です。（納付済み入学金を還付します）ただし、10月採用者は除きます。
5. 授業料の減免については、2期に分けて減免します。（前期450,000円、後期450,000円）



【学業等にかかる基準】

新入生	2年次生以上
①高等学校等における評定平均値が3.5以上または、入学者選抜試験の成績が入学者の上位1/2の範囲 ②高等学校卒業程度認定試験の合格者 ③将来社会で自立し、活躍する目標をもって学修計画書により確認できる	①GPA（平均成績）等が学部等における上位1/2の範囲 ②修得した単位が標準単位数以上であり、将来社会で自立し、活躍する目標をもって学修計画書により確認できる

【その他要件】

- ・日本国籍、法定特別永住者、永住者等又は永住の意思が認められる定住者であること。
- ・高等学校等を卒業してから2年の間までに大学等に入学を認められ、進学した者であって、過去において本制度の支援措置を受けたことがないこと。
- ・保有する資産が一定の水準を超えていないこと（申告による）。

【適格認定】

支給の期間は原則卒業までですが、毎年1回家計基準と学業基準を満たしているか判定を行います。（学業基準については上記基準と一部異なる。）それにより支援区分の見直しや、奨学金が廃止になる可能性があります。その他、不明な点がありましたら、日本学生支援機構ホームページ(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kuyufu/index.html>)をご確認いただくか、学生課窓口までご相談ください。

■2024年度からの奨学金制度の改正に伴う支援の拡大について

文部科学省において令和6年度より奨学金制度の改正が行われます。

この改正に伴い、授業料等減免と給付型奨学金をセットで行う「高等教育の修学支援新制度」について、子育て支援等の観点から世帯年収600万円程度までの多子世帯の中間層へ支援対象が拡大されます。

<支援対象>

- ・新規支援区分の対象は、世帯年収600万円程度までの学部段階
- ・多子世帯：扶養する子の数が**3人以上**である世帯（扶養する子が3人以上いる間、第1子から支援）

<支給水準>

- ・支給額：全額支援の4分の1の額
- ・授業料減免額：900,000円（年額）

改正の内容については、文部科学省のホームページをご確認ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shougakukin/main.htm

また、具体的な内容については、manabaでお知らせいたします。本学では奨学金の給付および入学金・授業料減免を実施する予定です。

■京都薬科大学奨学金

本学独自の奨学金制度として、給付型・貸与型奨学金が設けられています。給付型奨学金は返還の必要がない奨学金で、貸与型奨学金は、卒業後返還となる奨学金です。公募となる奨学金は申請が必要である奨学金のため、申請を希望される方は、必ず指定の期間内において申請をして下さい。

奨学金の詳細は募集時期になりましたら、manaba上の各年次コースに掲示を行います。

	種別	金額	募集人数	募集方法	対象等
給付型	新入生特待生	半期授業料(90万円)	約10名	大学選考 合格通知書に特待生通知書を同封	【2019年度入学者から適用】 新入生:入試成績上位者 ≪採用人数≫一般入試A方式: 4名 一般入試B方式: 5名 一般入試C方式: 1名
	成績優秀者	5~20万円 (特待生は90万円)	各学年 約15名	大学選考 (4月)	【2019年度入学者から適用】 2年次生~6年次生 成績優秀者上位15名 新入生特待生制度を利用して入学した学生が、上位10名以内であれば90万円給付
	研究・課外活動優秀者	5~20万円	約10名	公募 (2月~4月)	2年次生~6年次生 研究・課外活動において、顕著な実績又は成果を挙げた者
	遠隔地出身学生 (新入生予約制度)	60万円(月額5万円)	約12名	事前公募 (12月) 追加募集がある場合、4月に別途manaba等により案内	【2021年度入学者から適用】 ・通学に合理的と認められる経路及び方法を利用し、片道120分以上を要する所在地に自宅(保証人の居住地等)があり、下宿生活をしている学生(保証人の所得基準有) ・入試前に公募、予約採用を決定する ・採用者が未入学等により、定員に余剰が出た場合、追加募集を行う ・6年間受給可能(継続審査あり)
	貸与型 (無利子)	年額授業料の1/2以内	約10名	公募 (10月)	授業料の支払が困難な者 在学中に1回 10月募集、11月下旬貸与

■授業料減免制度について

本学では、学内奨学金制度に加え、大学等における修学の支援に関する法律に基づく授業料減免制度及び、別途本学独自の授業料減免制度を設けています。

それぞれ、前期申請については4月、後期申請については10月に受付を行いますので、希望される方は、学生課に所定の申請書を提出してください。それぞれ申請時期になりましたら、manaba上に申請要領及び申請書を掲載します。

種別	減免額	募集人数	募集方法	対象等	
授業料減免	授業料減免制度 (学部)	90万円 (半期授業料)	約20名	公募 (4月・10月)	経済的な理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が標準以上の学生 (年収600万円以下で、国の修学支援新制度対象外の学生)
	法令等に係る授業料等減免 制度	40万円(入学金) 90万円(半期授業料)	対象者全員	公募 (4月・10月)	国の修学支援新制度対象学生 対象: 日本学生支援機構 給付型奨学生採用者 (注) ・入学金の減免は、その年の学部新入生であり、4月1日付で承認を受けた方のみが対象となります。 (納付済み入学金を還付します)。 ・授業料の減免については、2期に分けて減免します。(前期450,000円、後期450,000円)

NEWS 2024年度学費等の納入について

会計課

学費等の納入については、口座振替を原則としています。口座振替の申込をされている方は、振替日の前日までにご指定の口座に授業料等相当額を入金しておいてください。なお、2023年度以前に入学され、口座振替の申込をされていない方は、納付書を送付します。

●口座振替

	前期	後期
口座振替日	4月27日	10月27日
再振替日	5月23日	11月23日

- ・振替日が金融機関の休業日(土日・祝日)の場合は、翌営業日となります。
- ・振替にかかる手数料は本学が負担します。
- ・再振替日は、前月の振替日に残高不足等により口座振替ができなかった場合に振替します。
- ・振替通知は、口座振替の申込時にご登録いただいたメールアドレスに振替1週間前に通知します。

■経済的な事情により、期日までに納入ができない場合は、学生相談員(3年次後期以降は分野主任)に相談し、事務局学生課にて速やかに学費延納手続を行ってください。

■所定の期限までに納入がない場合は、講義・実習等の受講及び各種証明書の発行が停止され、定期試験等の受験資格を失うほか、進級・卒業にも影響し、場合によっては退学処分となりますので、十分注意してください。

NEWS 2024年度オープンキャンパス開催のお知らせ

入試課

2024年度のオープンキャンパスは下記の日程で行う予定にしています。開催につきましては、詳細が決まり次第、本学公式サイトでお知らせいたしますのでご確認ください。

■2024年度オープンキャンパス

〈開催日〉

2024年6月2日(日)

2024年8月3日(土)・4日(日)

2024年10月6日(日)



受験生サイト

お問い合わせ

入試課

TEL : 075-595-4678

FAX : 075-583-2232

E-mail : kpu-koho@mb.kyoto-phu.ac.jp

毎年、京都橘大学と合同で実施している多職種連携教育（Interprofessional Education; IPE）研修会を2023年11月9日に開催しました。2016年度から開催して今年度で8回目を迎えます。いつもはバラバラに専門分野を学んでいる薬学、看護学、理学療法学、作業療法学の4領域の学生が一堂に会して多職種連携について理解を深める研修会です。

IPEの目的は「①医療チームの一員として自分の専門職の役割を理解する」、「②他の専門職の視点、考え方、役割を学ぶ」ことであり、異なった医療人教育を受けている薬学・看護学・理学療法学・作業療法学の学生たちが共に話し合い（SGD）を通じて多職種連携の在り方や考え方などを知り、各職種にはどのような強みや弱みがあって、各職種が協働してどのような形でチーム医療に貢献できるのかを理解することが大きな目的です。

本年度の研修会に参加した学生は48名（京都薬科大学：5年次生12名、京都橘大学看護学部：4年次生12名、京都橘大学健康科学部理学療法学科：4年次生12名、京都橘大学健康科学部作業療法学科：4年次生12名）でした。



I部で実施した学科ごとのSGD

症例シナリオは「畑で脳梗塞を発症して右の手足がマヒし、軽度の認知症を患いながら妻と暮らす60歳代男性の在宅ケア」です。I部ではまず同じ学科の学生同士でSGDを行い、このシナリオについて「各専門職として何ができるのか？」についてのアウトカム（プロダクト）を作成し、それを発表してもらいました。その後、II部では各学科の学生が混ざった学科混成グループにして「各専門職としてだけではなく、在宅でのチーム医療を実施するための共通目標を立てるこ

臨床薬学教育研究センター いまにし たかし
今西 孝至

と」をアウトカムにしてSGDを行い、プロダクトを作成し、発表してもらいました。

実際に研修会を行ってみると、I部では同じ教育を受けているため議論がスムーズに進みましたが、II部では各専門の医療人教育を受けてきているため、それぞれの立場からの考え方の違いが明確になり、それぞれの意見をうまく統合させた共通のアウトカムを導き出すのに苦労している様子でした。しかし、研修終了後の薬学生からは「同じシナリオであるにも関わらず、着眼点が異なり、普段では思いつかない視点があることに気づかされた」や「他分野の専門用語を理解しながらの議論は難しく、患者の生きがいを探る重要性を共有できたのが成果でした」という意見が上がっていました。



学科混成グループでのプロダクト発表

アンケート調査で「本IPE研修を後輩に勧めますか？」という質問に対して、学生48名全員が「はい」と回答しており、卒業後もこのようなIPE研修会があれば参加したいと答えていました。

日本は世界に類を見ない少子高齢化を迎えています。社会保障費も膨れ上がってきており、これからの地域医療は“病院完結型医療”から“地域連携型医療”にシフトしないとはいけません。これに対応するためには、治療（cure）だけでは不十分であり、発症後の介護・福祉も含めたケア（care）も重要になります。そのため、自らの専門的能力だけではなく、他職種の役割を理解した上で、多様な専門職と協働し、患者や利用者のニーズに応じていく実践的な能力を身に付け、医療現場で働き始めた時から円滑なチーム医療を実践できるように学生時代から多職種連携についてしっかりと理解しておくことが重要であり、非常に大切な研修会であると考えています。



研修会参加者の皆さん

◆2024年度卒業後教育講座

～病態や疾患の理解を深め、一歩進んだ介入ができる薬剤師を目指して～

* 日程：2024年5月19日(日)、6月16日(日)、7月21日(日)、8月25日(日)

5月・7月 9:30～13:00、6月・8月 9:30～15:45

* 場所：京都薬科大学愛学館3階A31講義室 及び オンライン配信

* 定員：対面200名

* 参加費：12,500円（受講料12,000円、事務手数料500円）

* 申込受付期間：2024年5月6日(月)まで * 認定単位：G24計10単位（1単位/演題）



開催日	時間	演者・演題
第1回 2024年 5月19日 (日)	09:30～11:00	感染症治療の基本的な考え方 洛和会音羽病院 院長・感染症科 部長 神谷 亨 先生
	11:15～12:45	女性の健康と薬剤師のかかわり(仮) 医薬情報研究所(株)エス・アイ・シー 取締役・医薬情報部門責任者 堀 美智子 先生
第2回 2024年 6月16日 (日)	09:30～11:00	がん治療の変遷～胃がん外科医が経験してきたこと～(仮) 京都第二赤十字病院 腫瘍内科・緩和ケア科 部長 柿原 直樹 先生
	11:15～12:45	がん薬物療法を受ける患者の自分らしく過ごすをどう支えるか～薬剤師と看護師の協働～ 京都第二赤十字病院 看護部 外来化学療法 師長 浅野 耕太 先生
	14:00～15:30	がん薬物療法における薬剤師の役割～過去、現在、そしてこれから～ 京都第二赤十字病院 薬剤部 治験管理課 課長 野口 裕介 先生
第3回 2024年 7月21日 (日)	09:30～11:00	ミトコンドリア/ATPシグナルと2型糖尿病 久留米大学医学部 内分泌代謝内科 教授 野村 政壽 先生
	11:15～12:45	ミトコンドリアと糖尿病治療戦略 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター 糖尿病・内分泌内科 部長 西川 武志 先生
第4回 2024年 8月25日 (日)	09:30～11:00	CKD診療とくすり 京都桂病院 腎臓内科 部長 宮田 仁美 先生
	11:15～12:45	薬剤師が取り組む！薬剤性腎症を予防する取り組み 近江八幡市立総合医療センター 薬剤部/医療安全室 副主幹 林 八恵子 先生
	14:00～15:30	小児医療と薬剤師のかかわり 明治薬科大学 特任教授 石川 洋一 先生

※終了後、アンケート記入時間15分有り

◆2024年度eラーニング講座

今年度の卒業後教育講座および漢方講座を新規コンテンツとし、前年度コンテンツも再配信します。ニーズに合ったコースを選んでお申し込みください。（新規22コンテンツ予定）

* 配信期間：2024年6月1日(土)～2025年2月28日(金)

* 参加費：①全視聴コース 30,500円（受講料30,000円、事務手数料500円）

②当年度コース 22,500円（受講料22,000円、事務手数料500円）

③卒業コース 20,500円（受講料20,000円、事務手数料500円）

④漢方コース 24,500円（受講料24,000円、事務手数料500円）

* 申込受付期間：2025年2月24日(月)まで * 認定単位：G24 1単位/コンテンツ

■ 申込方法 生涯教育センター公式Webサイトよりお申し込みください。 <https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>

■ 問合せ先

京都薬科大学 事務局 実務・生涯教育課

* E-mail：s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp

* TEL：075-595-4677（平日10:00～16:00）

* FAX：075-595-4792

生涯教育センター
問い合わせフォーム卒業後教育講座
申し込みページeラーニング講座
申し込みページ

■ 本学の学生・職員は、講座の無料受講が可能です。

受講希望者は、実務・生涯教育課までメールにてご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしております。

かなせ ゆき
学生実習支援センター 助教 金瀬 薫

『カリカリベーコンはどうして美味しいにおいの？食べ物・飲み物にまつわるカガクのギモン』
Andy Brunning 著
高橋 秀依 訳
夏苺 英昭 訳
化学同人 (2016年)

みなさんはベーコンを焼いている時なぜあの芳しいにおいがするのか、そのにおいの正体について考えたことがありますか？本書では、そのような身の周りの食べ物や飲み物に関する不思議だなと思うことがポップな表紙やタイトルからは想像できないくらいしっかり科学的に紹介されています。中を開くと見開き1ページで1つのトピックが紹介されていて、左側のページにはその食べ物や飲み物の写真や構造式、右側のページ



には説明が書かれています。「魚はどうして魚臭いの？」、「パチパチキャンディーはどうしてはじけるの？」、「エナジードリンクって、本当に効くの？」など一度は疑問に思ったことがある、言われてみるとなぜだろうと思う内容も多く、読んだ後は他の人に話したくなるような本です。

私がこの本のおすすめを書いているのは2月です。バレンタインデーにちなんで「チョコレートは冷蔵庫に入れておくべきなの？」について簡単に紹介したいと思います。チョコレートの主成分はココアバターで、このココアバターの分子同士がどのように配置されるかでチョコレートの構造が決まり、少なくともNo.1からNo.6までの結晶多形があるそうです。その中で見栄えや味わいが最もよいのはNo.5ですが、溶けたココアバターがそのまま固まるとNo.1からNo.5までが混ざったものができてしまいます。そこで、チョコレートは「焼き戻し(テンパリング)」という工程を行いNo.5の割合を増やし、見栄えや味わいがよいチョコレートにするそうです。No.6は溶けたチョコレートが固まる過程ではできず、No.5が数カ月たち、No.6への変化に必要なエネルギーを得ることで生じます。冷蔵庫へ入れることでそのエネルギーを得ることができなくなるため、確かにNo.6への変化は止められますが・・・。続きは、チョコレートを楽しみながら読んでみてはいかがでしょうか。

すぎもと あきこ
実務・生涯教育課 杉本 明子

『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか経営における「アート」と「サイエンス」』
山口 周 著
光文社新書 (2017年)

タイトルの答えは、本の最初に、「これまでのようなサイエンス重視の意思決定では、今日のように複雑で不安定な世界においてビジネスの舵取りをすることはできない」からだと言及されています。その理由として、1. 論理的・理性的な情報処理スキルによる意思決定の限界、2. 社会の豊かさによる自己実現欲求市場の登場、3. 変化のスピードに制度が追いつかない世界、の3つが挙げられ、それぞれについて詳しく説明されています。



具体例が多く示され、読みやすく理解しやすい内容でした。いくつか著者の主張を列挙します。

- ・意思決定における「アート(感性)」「サイエンス(分析)」「クラフト(経験)」の3つの側面のバランス(差別化には、直感や感性を重視し「真・善・美」を基準にした独自の世界観とストーリーを持つことが重要)。

- ・「社会彫刻」というコンセプト(全ての人はアーティストとしての自覚と美意識を持って社会に関わるべきで、世界をどのようにしたいかというビジョンを持って毎日の生活を送るべきだ、という考え)。

- ・より高品質の意思決定をスピーディに行うためには「主観的な内部のモノサシ」(美意識に基づいた自己規範)を持つ必要がある。

- ・システムを改変できるのはシステムの内部において、これに最適化しながらも、システムそのものへの懐疑は失わず、理想的な社会の実現に向けて、システムの改変を試みる人。

様々な要素が絡み合いそれが複雑に変化する社会やAI全盛の時代において、「客観的な外部のモノサシ」(論理・法律・データ等)だけでなく、自分の立ち位置を見定めたくて「主観的な内部のモノサシ」を持って物事を判断する必要性に得心が行きました。グローバル企業のビジネスマンや経営者でなくても、自身の有り様を考えるのに参考になる著書だと思います。

庶務課

2024年2月16日（金）、創立130周年記念館において、白衣授与式を挙行政いたしました。

学生に授与した白衣は、教育後援会と京薬会からのご支援によるものです。今回、白衣のデザインが一新され、左腕上腕部に大学名（Kyoto Pharm. Univ.）を刺繍、しわになりにくい生地となっています。



新しくなったデザイン

白衣授与式は、翌年の新5年次生全員を対象に病院・薬局での実習前に、将来薬剤師（医療従事者）となる者の責任と京都薬科大学の学生であることの自覚を再度認識させるため、毎年度この時期に開催しているものですが、第1期実務実習に参加する学生（114名）については実習開始の7日前までに実習の居住地に移動（帰省）しなければならないことから、残念ながら式典に出席していただくことができませんでした。式典では、学

生の代表者が学長から白衣を授与された後、全員が大学名の入った白衣を着用しました。その後、赤路学長からの式辞、村木臨床薬学教育研究センター長からの「実務実習に向けた心構え」の説明後、教育後援会の岡本会長様と京薬会の平松会長様からそれぞれ挨拶をいただきました。

最後に学生の代表から「愛学躬行の精神を心に抱き、本学の学生らしい意欲と態度で実習に臨む」との誓いの言葉が述べられ、閉式となりました。



真新しい白衣に袖を通し、心構え新たに

News 京薬会だより

1 白衣授与式

2月16日に挙行政された白衣授与式では、京薬会平松会長から新たなデザインとなる白衣を実務実習に向かう4年次生に激励のメッセージとともに贈呈（1着）しました。

2 歴史資料室だより

★卒業生の方からの牧野富太郎関係の情報★

NHK朝ドラの「らんまん」は終わりましたが、『京薬会誌』158号掲載の「歴史資料室だより」を読まれた千葉県東金市にお住まいの卒業生の方（1974年卒）から牧野富太郎博士についての情報をいただきました。昭和初期に同市内に「本草園」という薬舗を開かれたご曾祖父きごうが牧野博士へんがくと懇意にされていたとのこと、お二人が写っている写真と牧野博士による「本草園」の揮毫による木製扁額の写真が掲載された雑誌を寄贈いただきました。なお、寄贈いただいた雑誌は資料室で展示・保管しています。関心をもたれた方はご来室ください。

★国立公文書館所蔵の京薬関係公文書の調査★

昨年12月20日、資料室長の鈴木が東京メトロ東西線竹橋駅近くにある国立公文書館へ出向き、同館所蔵の京薬関係文書を調査、撮影してきました。具体的には京都薬学専門学校時代（山科移転関係を含む）と京都薬科大学創立前後の公文書のうち、京薬から当時の文部省宛の簿冊10冊ほどで、本学の歴史の研究に役立てていきたいと考えています。

★2024年の企画／歴史資料室でのルドルフ・レーマン関係資料の調査★

本年は京薬創立140周年、ルドルフ・レーマン没後110周年、『京薬会誌』創刊80周年の節目ですので、これらに関係する企画（本誌特集や展示など）を考慮中です。なお、1月には、鈴木が地下鉄烏丸線北山駅近くの京都府立京都学・歴史館でルドルフ・レーマン関係の資料を調査し、レーマンと政府や京都府との間で結ばれた雇用契約書点数などを写真撮影してきました。これらの契約書により、レーマンがどのような仕事を期待されていたのか、どのような雇用条件であったのかということなどが明らかになります。それらの資料をもとにしたレーマンの新たなイメージをご紹介しますと思います。なお、3月1日から歴史資料室で「ルドルフ・レーマンと京薬の創立者たち」という記念企画展を予定しています。

（愛学躬行歴史資料室長：鈴木 栄樹）



人とのつながりを大切に、 未来を拓いてください

よしだ たくや
吉田 拓弥



2009年 卒業(臨床薬学分野)
2011年 大学院修士課程修了
(臨床薬学分野)
2017年 大学院博士課程修了
(臨床薬学分野・社会人)

特定医療法人
仁真会白鷺病院薬剤科 主任

4年制薬学部の最終学年だった私は、3年次生秋に所属研究室を選択する際、迷わず病院薬学分野(現在の臨床薬学分野)を選びました。病院に就職して薬剤師として働きたいと強く思っていたからです。この研究室で、先輩・後輩と一緒に研究に打ち込んだこと、研究室でセミナーで読み込んだ文献について発表・議論したこと、憧れる薬剤師像だと感じる諸先輩方がたくさんいたこと、これらは今も、私が病院薬剤師を続ける礎になっています。自身の価値基準を変容させてくれた研究室には、感謝の気持ちしかありません。

白鷺病院に入職したのは、大学院修士時代に研修でお世話になったことがキッカケでした。ここでもまた、尊敬する先輩薬剤師に出会い、「この方と共

に働きたい、そうすれば私の可能性はもっと広がるはず」と感じ、そこで薬剤師として働く機会に恵まれました。白鷺病院は、「信頼・友愛・探求」をモットーとする腎・泌尿器系専門病院で、特に透析患者の薬物療法適正化について、先代の薬剤師の方々が数多くの論文や著書を執筆され、今もその情報が全国で活用されています。

私は現在、調剤・病棟薬剤業務・TDMなどの臨床業務をこなしながら、臨床現場における薬学研究を通じて、主に腎臓病領域における医療の発展に貢献したいという想いで働き続けています。医療は日進月歩、治療をうける患者背景も治療法も多様化し、様々な薬学的問題点が生じます。それを察知し、周知したり、問題の改善策を立案したりすることは、臨床現場の薬剤師だからできることだと、誇りをもって取り組んでおります。その過程で、臨床薬学分野のご協力を経て博士の学位をいただくこともできました。腎臓病薬物療法専門薬剤師も取得し、薬物療法適正化について啓発する機会も数多くいただけるようになり、院外にも数多くの薬剤師仲間にも恵まれ、充実した毎日を送っています。

今改めて、大学時代というのは可能性を広げる絶好の機会だと思います。多くの友人を作ること、深い仲になること、これもまた大切です。人生の重要な時間を共に過ごした仲間との繋がりは、自分の可能性を無限大に広げます。「(その時は)無駄だと思えた時間も、(後から振り返れば)無駄ではない」と、胸を張って言えるような大学生活を送ってください。

Library News

図書館

CAS SciFinder Discovery Platform for Academicsの利用開始に伴い、2024年4月から従来のSciFinderⁿ(学術論文や特許などの文献、化学物質、反応情報を検索できるデータベース)に加え、製剤・配合情報に特化した検索ができるCAS Formulus、詳細な分析手順、測定機器、バリデーションデータを含む15万件以上の分析情報データベースCAS Analytical Methods、世界最古のドイツ語の化学抄録誌であるChemisches Zentralblattの英語版コンテンツであるChemZentを利用できるようになりました。

利用にあたってはユーザー登録が必要となりますが、SciFinderⁿのUsernameとパスワードをお持ちの方は、これまでどおりご利用いただけます。各データベースの詳細や利用方法などは、「図書館ホームページ>データベースで探す>CAS SciFinder Discovery Platform for Academics」でご案内しています。

これからの教育・研究活動をよりサポートするための検索ツールが新たに利用可能となりますので、ぜひご利用ください。

◇本学図書館の開館日程についてはホームページをご覧ください。

<https://www.kyoto-phu.ac.jp/library/>



2024年度大学院薬学研究科 薬学専攻博士課程（冬季募集） 及び薬科学専攻博士前期課程（転入学）の入学選考結果

Report

入試課

2024年度大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（冬季募集）及び薬科学専攻博士前期課程（転入学）の入学選考を1月24日（水）に実施し、1月25日（木）に合格発表を行いました。入学選考の結果は表のとおりです。

■ 2024年度大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（冬季募集）の合格者数等

	博士課程	2024年度合計（夏季募集含む）
志願者数	3名	12名
受験者数	3名	12名
合格者数	3名	12名

■ 2024年度大学院薬学研究科薬科学専攻博士前期課程（転入学）の合格者数等

	博士前期課程
志願者数	1名
受験者数	1名
合格者数	1名

薬用植物園の活動報告 Vol.3

Report

薬用植物園

とろ お屠蘇を作りました

薬用植物園では、研究室所属学生の実習の一環として毎年12月に屠蘇散を作成しています。当園で作る屠蘇散には、陳皮（ウンシュウミカンの果皮）や桂皮（*Cinnamomum cacia*の樹皮）をはじめ、食用にもできる6種類の生薬を使用しています。各種生薬を粉砕した後、篩にかけて粒径を揃え、薬用植物園オリジナルの割合で配合します。年によって生薬の香りや味が微妙に変わるため、最終的には香りを確認しながら微調整を行います。

当園の屠蘇の香りは、20年以上にわたり、学生によって引き継がれてきたもので、今後も継承されることを期待しています。

【処方紹介】

屠蘇

原型は中国後漢時代の医師、華佗によって考案されたとされ、日本へは弘仁年間（810～824年）に伝わったとされる。平安貴族の間で流行し、屠蘇の服用は朝廷の元旦行事とされた。「一人飲めば一家無疫、一家飲めば一里無疫」といわれ、一年の無病息災を願って一晩酒に浸したものを元旦に服用する。

かつては大黄（タデ科 *Rheum* 属の根茎）や附子（キンポウゲ科 *Aconitum* 属の塊根を修治したもの）など、作用の強い生薬が使われていたが、時代が下るにつれてこれらを除いた処方用いられるようになったとされる。



生薬を粉砕する様子



配合した生薬を袋詰めしています



植物園のinstagramはこちらから
ご覧ください。

十 人 十 色

KPU^{NEWS}では、学生・職員の趣味や活動などを新コーナー「十人十色」と題して幅広く紹介しています。学生・職員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

2023年度海外Summer Program～ドイツへの留学～

3年次生 いかわ あゆみ 伊川愛結美 きたおか さちね 北岡幸峰

私たちは8月2日から8月26日の3週間、フライブルク大学への留学に挑戦しました。ドイツ語の授業を通して、ドイツに興味を持ち、語学力を向上させたい、視野を広げて自分自身を成長させ、将来グローバルに活躍できる薬剤師になりたいと思い、留学を決意しました。今回は、コロナ禍のため中止になっていたSummer Programが再開された第1回目ということもあり、個人留学という形での申し込みとなりました。私たちは第二外国語でドイツ語を履修していましたが、最後の履修から半年以上経っていたため、事前準備として本学の岩崎大輔先生に週1回の頻度でドイツ語を話す練習をしていただきました。

フライブルクはドイツ南西部に位置する自然豊かな学生街です。街には石畳の道が続き、パステルカラーの家や建物が続く街並みは、まるで絵本の中の世界のようなものでした。市内にはトラム(路面電車)が張り巡らされ、移動が非常に便利でした。また、景観まちづくりやゴミの分別制度が整っており、環境に対する意識の高さを感じました。1日の気温差が15℃と激しく、服装選びが難しかったです。夜は21時頃まで日が出ており、比較的安全な環境の中で留学生活を送ることができました。



大学周辺の街の様子

午前中は主に文法を学ぶ必修授業を受けました。クラスの先生は初日からドイツ語のみで授業を進められ、初めは、先生やクラスメイトの会話についていくことに必死でした。ドイツ語での会話のスピードや単語量に言語の壁を感じ、苦戦することが多かったですが、先生はどのような時も親身に向き合ってください、言いたいことが言えるようになるまで時間を取って積極的に発言する姿勢を尊重してくださいました。しばらくすると、相手に自分の話すドイツ語が伝わるようになり、達成感や喜びを感じ、自信へと繋がりました。午後はグループでゲームをしながら、単語や日常でよく使うフレーズに触れる任意参加の授業を受けました。時には、クラスメイトに助けをもらいながら積極的に話すことで、ドイツ語を楽しんで学ぶことができ、語彙力や日常会話表現を強化することができました。昼食は毎日メンザ(食堂)を利用しました。クラスや国を超えた仲間と共にご飯を食べながら様々な話をするのができ、思い出がたくさん詰まった場所の1つです。放課後は買い物に行ったり、フライブルク市内を探索したりしました。

ルームメイトであった私たちは授業時間以外もドイツ語で会話するように心掛けていたため、留学生活の半分が経過した頃には英語よりも先に自然とドイツ語が口から出てくるようになりました。

休日は大学のツアーに参加し、Heidelberg、Bodensee、Straßburgなどドイツやフランスの観光名所を巡ったり、自分たちで計画を立て、MünchenやスイスのBassel、フランスのParisを観光したりしました。大学のツアーはガイド付きであったため、観光名所を見て回るだけでなく、歴史や文化にも触れることができました。多様な文化や価値観に触れることで、自分たちがもつ固定観念について考え直す良い機会となりました。また、フライブルクの薬局で働く京都薬科大学の先輩から現地でのお話を聞く機会をいただきました。ドイツと日本の薬局の仕組みの違いやドイツでの生活を知ることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

この留学を通して、クラスメイトはもちろん、寮やアクティビティでたくさんの素敵な出会いがあり、様々なバックグラウンドをもつ人々との交流はとても刺激的でした。また、ドイツの生活ルールがわからず困っていると、現地の人々が親身になって助けてくださり、優しさを肌で感じる場面が多くありました。一方、ロストバゲージや電車の急な運休、直前に乗り場が変更されるなど日本では考えられないようなアクシデントもありました。様々な困難に直面し、乗り越えていく中で、主体的に考え行動する習慣が身についたと思います。コロナの感染リスクもある中、飛行機の手配から寮の契約まで全ての準備を自分達でやらなければならないことに不安を感じましたが、3週間の留学は学生生活においてラストチャンスということもあり、ドイツへの留学を決意して本当に良かったです。今後この経験を糧に、大学での学びや将来に活かしていきたいと思います。

フライブルク大学への留学の魅力は伝わりましたでしょうか。非英語圏への留学に不安を感じる方も多いかと思いますが、かけがえのない経験をするのができ、一生の思い出に残ることは間違いありません。皆さんも是非挑戦してみてください。

最後になりましたが、この留学を実現するにあたり、ご支援いただきましたたくさんの方々へ感謝申し上げます。



フライブルク大学正門前にて
北岡(左)、伊川(右)

News クラブ・サークル紹介

本学で活動しているクラブ・サークルの一部を紹介します。

サッカー部

活動は火、木、土の週3回で、初心者も経験者も大歓迎です！この部では、スノボなどのイベントもあり、楽しく活動しています！



女子バレーボール部

毎週水曜日と土曜日に活動しています。経験者も初心者も一緒にみんなで楽しくバレーボールをしています！



硬式テニス部

薬連優勝を目標に、日々部活動に励んでいます！テニス上手になりたい人、硬式テニス経験者、ソフトテニス経験者大歓迎です！テニス以外にもみんなでご飯に行ったりイベントしたりしてます！

一緒にテニスしませんか？新歓お待ちしております！



バドミントン部

月・木の週2回、楽しくバドミントンをしており、主に大会などに向けて頑張っています！初心者から経験者まで大歓迎です！



アメリカンフットボール部

アメフトは運動未経験な方でも活躍できるスポーツです！部員・マネージャー大募集！毎週月・水・金にグラウンドで活動しています。



女子バスケットボール部

現在、プレイヤー10人、マネージャー7人で週2回ほど活動しています！大会なども沢山あり、時には遠征などで泊まりでワイワイ楽しんでいます！優勝目指しながら、楽しく活動しているので、ぜひ入部してください！



陸上競技部

長距離、短距離どちらも楽しく活動しています！
ぜひ体験に来てください！

空手道部

週1回、1時間程度一緒に体を動かしませんか？外部から指導者がきてくださるので、初心者でも黒帯を目指せます！



茶道部

お稽古は毎週火曜日！（ときどき金曜日も！）
お菓子たべて！お茶を点てて！着物着て！お茶会します！



写真部

写真が好きな人なら誰でも大歓迎！
京都を中心に関西圏で主に活動しています！他にもBBQやお花見なども計画中。是非見学へ！



美術部

美術の経験者初心者問わず、多様な画材や方法で、みな自分の思い思いの作品を和気あいあいと制作しています。

サイクリング部

自転車に乗って、電車や徒歩では味わえない爽快感や景色を共に味わいましょう。



軽音楽部

軽音学部は部員数が多く、縦、横のつながりがとても強い部活です。経験者もちろん、楽器初心者の方も大歓迎です！



京炎そでふれ！京躍華

よさこい系創作おどりをしています！
一から全て自分たちで作ってます！学生最後の青春を一緒に過ごしませんか？



合唱部（ユーベルコール）

私たちは少ない人数ですが楽しく活動しています。初心者も大歓迎です！歌うことが好きな方は是非合唱部へ！



管弦楽部

私たちは定期演奏会に向けて日々練習を積み重ねています。初心者、経験者共に大歓迎です！一緒に楽しく音楽を作り上げてみませんか？



ギター・マンドリン部

毎週火・金曜日に活動しています！入学式や卒業式、文化祭での演奏や他大学との合同演奏会に向けて練習に励んでいます！たくさんの入部お待ちしております！



ESS部

私たちは週2日昼休みに英語を使ったゲームや大会に向けた練習をしています。気軽に参加してみてください！



植物研究部

月1~2回自由に集まり、植物に関する様々なことにチャレンジしています！！総勢95名で、温かい雰囲気です☆



Friwilly (ボランティアサークル)

児童館で行う実験会に向けて、ほのぼのとした雰囲気です！みんなで楽しい実験を考えましょう！



京葉祭実行委員会

京葉祭の企画・運営を行う委員会です。和気藹々と一致団結しながら京葉祭を盛り上げていきます。合宿等イベントもたくさんあるので楽しみにしてくださいね！！



LOD (ダンスサークル)

初心者、経験者問わず、男女共にアットホームな雰囲気です！みんな楽しく活動しています！



■アフターコロナの対人不安

冷え込む毎日から少しずつ暖かさを感じる日々となり、こころも身体もホッと緩められる桜の咲く季節となりました。そして、大学では新学期を迎えました。新たな区切りを迎え、みなさんはどのようにお過ごしでしょうか。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の分類が変更され、1年が経とうとしています。その間、社会状況も大きく変化していきました。当時、メディア等で連日のように取り上げられていた「ソーシャルディスタンス」「3密回避」「自粛要請」「クラスター」等の言葉はいつの間にか聞かなくなっていきました。しかし、あれほどまでに人と直接接することを制限されていた日々が、人の心に何らかの影響を及ぼすことはなかったのでしょうか。

少し前になりますが、2023年6月にNHKスペシャル「アフターコロナ 人に会うのがツライ ～科学で解明！心の異変～」という番組が放映されました。その番組では、コロナ禍で長い間、新しく人との関わりを持ちにくい状況が続くうちに、人とふれ合う喜びがパワーダウンし、逆に脳が他者に不安や恐怖を感じやすくなって、不安のハードルがどんどん高くなってしまったという「こころの変化」が、実験の結果を元に取り上げられていました。

また、コロナ禍は様々なリモート化を促進させましたが、番組内ではリモートによる対面場面では「脳活動の同期（感情の共有）」が難しいことを示す実験も紹介され、オンライン上では、人と会ってはいても、情報だけが交換されている、言葉だけのやりとりとなってしまうがちであり、感情の共有が難しいことが示されていました。

さらに、大学生や高校生といった若者における「人と関係を築くことへの不安」を取り上げており、若者たちの心の健康の悪化が問題となっているアメリカでは、そういった課題への取り組みの一つに、高校生に対する「SEL（社会感情学習）」という「感情のコミュニケーション」を学ぶためのカリキュラムが導入されているという紹介がありました。

残念なことに、日本では学校教育の一環として、コミュニケーションやメンタルヘルスに関わるプログラムが提供されることはほとんどありません。その背景には、メンタルヘルスに関わる問題については、依然として「自己責任」「気のもちよう」「自然と良くなるもの」という認識を持たれやすいことも関係しているのではないかと感じます。そういった背景もあり、コロナ後の人とのコミュニケーションの問題についても、時間が経てば自然に戻っていくだろうと思われがちですが、それが可能な人もいれば、その「自然に」が難しいと感じる人もいますでしょう。

長期に及ぶ人との隔離や感情共有の乏しさを起因とする、対人不安や緊張という問題は、コミュニケーション上の課題なので、一人でなんとかしようにも、なかなか解決が難しいことです。不安や緊張を緩めつつ、感情を交えた人との交流を活性化させていく実践をスモールステップで進めていくことが不可欠です。それにはまた、周囲の人達の協力も必要です。自分は対人関係で悩むことはないので関係ないと思われる人もいるかもしれません。そんな場合でも、周囲には困っている人がいるかもしれないという視点を忘れずにいてもらいたいと思います。そして、同じ集団に属するそれぞれの人が気持ちよく過ごせるためには自分がどのように考え、行動すればいいのかについてぜひ考えてみてください。

コロナ禍の影響はまだまだ残っており、心理的な変化や適応にかかる時間は人それぞれ違います。もし、「以前は、人と会うことがこんなに億劫ではなかったのになあ」とか「もともと対人関係は苦手だったけど、コロナ禍を経てさらにしんどくなっている」等の方がいれば、学生相談室の利用も考えてみてくださいね。ご利用お待ちしております。

（臨床心理士 上野みな子）

参考記事：アフターコロナ 人に会うのがツライ
～科学で解明！心の異変～

<https://www.nhk.jp/p/special/ts/2NY2QQLPM3/blog/bl/pneAJJR3gn/bp/pjRVKnn59j/>

■ 学生相談室のご案内

学生生活の中で問題や悩みに出くわしたとき、独りで抱え込むのではなく気軽に相談室をご利用ください。相談は臨床心理士が担当し、学業、進路、課外活動、将来、対人関係、性格、家族、心身の健康についてなど、事の大小に関わらず学生生活に関わる様々な悩みや問題について幅広い相談をお受けしています。学生ご本人だけでなく、保証人や教職員の方からの相談も可能です。

●相談申込み・問合せ先

学生相談室 育心館4階

相談を希望される方は下記申し込みフォームまたはメールにて予約をお願いいたします。相談は無料です。なお、対面相談のほか、オンライン相談（電話またはTeamsの音声通話）も実施しております。相談方法につきましてはカウンセラーにご相談下さい。その他詳細はお問合せ下さい。

- ・開室（受付）時間：月～金 8:45～17:15
- ・学生相談室メール：gakusou@mb.kyoto-phu.ac.jp
- ・電話：（075）595-4672（建部） / （075）595-4686（上野）



申し込みフォーム

■薬物治療学分野の山口大貴さんが第71回日本化学療法学会西日本支部総会において第18回日本化学療法学会西日本支部支部長賞 基礎部門を受賞しました

2023年11月9日（木）～11日（土）に開催された第71回日本化学療法学会西日本支部総会において、薬物治療学分野の山口大貴さんが第18回日本化学療法学会西日本支部支部長賞 基礎部門を受賞しました。

受賞：薬物治療学分野 博士課程3年次生 山口 大貴

演題：Acinetobacter baumannii 臨床分離株を用いた肺炎モデルでの深部 in vivo イメージング

演者：山口 大貴^{1,2}、中野 竜一³、矢野 寿一³、鴨志田 剛¹（¹京都薬科大学 微生物・感染制御学分野、²京都薬科大学 薬物治療学分野、³奈良県立医科大学 微生物感染症学講座）

■細胞生物学分野の鹿井遥花さんが第13回4大学連携研究フォーラムにおいて優秀賞を受賞しました

2023年11月21日（火）に開催された第13回4大学連携研究フォーラムにおいて、細胞生物学分野の鹿井遥花さんが優秀賞を受賞しました。

受賞：細胞生物学分野 5年次生 鹿井 遥花

演題：KSHV ORF9のウイルスゲノム複製への寄与

演者：鹿井遥花、祝迫佑紀、藤室雅弘



■臨床薬剤疫学分野の冢瀬 諒助教が第1回がんプロ研究シンポジウムにおいて優秀演題賞を受賞しました

2024年2月10日（土）に開催された第1回がんプロ研究シンポジウムにおいて、臨床薬剤疫学分野の冢瀬 諒助教が優秀演題賞を受賞しました。

受賞：臨床薬剤疫学分野 助教 冢瀬 諒

演題：大規模保険請求情報を用いたドセタキセルが投与された肺がん患者における呼吸器感染症の発現リスクの検討

演者：冢瀬 諒、後藤良太、細木誠之、芦原英司、村木優一



■微生物・感染制御学分野の鴨志田剛助教がSigma Xi の Full Member に選出されました

微生物・感染制御学分野の鴨志田剛助教がSigma Xi の Full Member に選出されました。

Sigma Xiは、1886年に設立された伝統と権威ある国際的な Scientific Research Honor Society（科学研究名誉協会）です。A. アインシュタイン、J. ワトソン、F. クリックをはじめとした200人以上のノーベル賞受賞者が会員として活動してきました。入会は会員からの推薦制になっています。

■本学の「Lehmannプログラム」が日経ドラッグインフォメーションに取り上げられました

本学履修証明プログラム「Lehmannプログラム」について、日経ドラッグインフォメーションプレミアム版（2024年1月号）に掲載されました。

■薬品分析学分野の武上茂彦教授が報告した学術論文がAnalytical Sciences2月号のHot Articleとして選出されました

薬品分析学分野の武上茂彦教授が報告した学術論文がAnalytical Sciences2月号のHot Articleとして選出されました。

タイトル：Detection of dopamine levels using a polydiacetylene liposomal aequorin bioluminescent device with octadecylboronic acid.

著者名：Shigehiko Takegami, Minato Danzako, Atsuko Konishi

掲載巻号：Analytical Sciences. 40 (2) , 353-356

Webサイト：<https://link.springer.com/collections/accefdcbhg>



■ 京都橘大学と京都薬科大学が共同開催している公開講座「京のやくたちばなし」について 京都新聞に掲載されました

京都橘大学と京都薬科大学が共同開催している公開講座「京のやくたちばなし」について、京都新聞（2024年1月9日）に掲載されました。



■ 新聞記事の一覧についてはこちら

<https://www.kyoto-phu.ac.jp/compendium/paragraph>



本学創立140周年記念ロゴマークが決定！

本学が2024年4月に創立140周年を迎えるにあたり、伝統ある本学の歴史とさらなる発展を学内外へ示すことを目的に、在学生・職員・卒業生を含めた本学関係者を対象とした公募によりデザインを決定しました。

詳細については次号（2024年7月号）で紹介予定です。



下記の方々からご寄附をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

* 高額のご寄附（10万円以上）を頂いた方は、京都薬科大学奨学金規則及び学生便覧に掲載させていただきます。

* 敬称略、芳名のみ掲載しております。

* 100万円以上を頂いた方は、愛学館エントランス『京都薬科大学 高額寄附者顕彰銘板』にも掲載させていただきます。

2023年12月～2024年2月にご寄附をお寄せいただいた方々

＜ 卒業生・同期会等（五十音順）＞

青井 いづみ	岡見 和典	佐々木和子	中川 孝	増山 伸幸
秋山 樹石	小川 典子	佐々木信子	長嶋真由美	見並 英樹
浅野 元	奥川 斉	塩飽 義明	中田 敏哉	見元 美子
蘆田 康子	鍵山 俊明	下中 睦子	中田 繁樹	宮崎喜徳郎
足立 信行	唐澤 洋子	白石えり子	永濱 淳子	宮本 明子
東 貴美子	川口たか子	杉崎 隆治	中原 幸子	三好 英伸
東 富雄	河尻 毅	鈴木須美子	中原 弘郎	本岡美智子
荒川 毅	河田 美穂	園田たか子	中村 悦子	森 一二美
安藤 隆興	木口 文里	高越 清昭	中村安紀子	森川 貴之
飯田富美子	北村 孝久	竹田 秀一	中村友規子	森島 健司
五十嵐 聡	木村 哲宗	武田 忍	七海 禮子	安田 和夫
池崎 宗克	栗田 淳子	武田 禮二	七海 朗	安田 仁
伊藤 嘉章	小岩 由紀子	竹中 正則	成田 喜弘	柳原恵利香
伊藤 達也	河野 浩子	竹中紀久子	濱内 覚	山口 博行
井上 肆汰子	越川 喜敏	田中 清隆	原 智恵子	吉波 潤子
岩井 隆也	小山 泰子	谷西 美佳	平田 妙子	若山 尚彦
上口 浩	小山 和子	田村 亮輔	平松 鶴彦	和島三千代
上田 啓三	小山 泰正	辻 勝蔵	平山 之朗	渡辺由佳子
鵜飼加代子	児山 道代	戸井 一郎	廣海 玄勝	渡辺 温
近江 和子	斎藤美智子	東木 英紀	藤本 國勝	京都薬科大学 写真部同窓会
大槻 雅子	酒井 誠	殿村 收史	藤本 恒子	下村薬局 下村岳生
岡崎 明生	坂口 昌弘	虎谷久美子	船田はるみ	有限会社出嶋薬局朝来店

＜ 卒業50周年記念募金（昭和49年卒業生）＞

足立 和子	外村ゆかり	藤井 章子	本田 久乃
井野 義章	中西由美子	別所 文子	渡部 桂子
岡 佳子			

＜ 保証人（五十音順）＞

奥田 眞也	勅使川原匡	松尾 暢男	行正 徹
久保田誠一	中尾 光成	矢敷 敦	株式会社CALME
杉本 雅美	藤岡 秀樹		

＜ 企業・団体・一般（五十音順）＞

鈴木 哲朗

＜ 法人役員・評議員・職員等（五十音順）＞

串田 ゆか（評議員）	中谷 庄吾（課長）
高野 江里（課長）	西口 工司（教授）

（2024年2月29日現在）

